
申原 寛 治

議長（村松 積） 次に、2番、申原寛治君、質問を許します。登壇願います。

2番、申原寛治君。

2番（申原 寛治） 2番、日本共産党の申原寛治です。

今3月予算議会ということでありまして、既に22年度の予算が編成され、今議会に上程されているわけですが、2月には景気対策等で国の補正予算も通過しております。私は、それらの予算を先に通告してありますように、村民生活に直結した政策に生かしていただくべく質問をいたしたいと思います。

最初にコスモホールの利用促進を図ってはどうかという観点から質問をいたします。

コスモホールは、平成15年に建設されまして、今年で7年目を迎えようとしておりますけれども、下條村の伝統文化の保存や世代間の交流を図ることを目的とした、文化交流センターとしてスタートしておりまして、各種イベント、下條歌舞伎などの伝統のもの、それらが各種イベント等が多数開催されて、利用者もかなり多いと聞いておりますが、この間の村内、村外者を含めての利用状況や傾向、今後の利用予測などについて、どのように考えておられるかお聞きをしたいと思います。

その報告をいただく中にも含まれますけれども、コスモホールは公営結婚式も行われております。これは生活改善の一環として、村民に広く利用されており定着しております。コスモホールの立地条件は村の中心にあり、ホールの収容人員だとか設備、駐車場など十分整えられておりますし、そこでもっと利用できる可能性があるのではないかと考えられます。

今100年に一度とか言われております不況は、まだまだ回復しませんし、そのような中で生活改善を一層進め、村民にもっと活用できるようにするという観点からも、ぜひコスモホールを葬祭などにも使えるように検討すべきではないかと考えます。この点について、村長の前向きな答弁をいただきたいと思います。

2つ目に、道路や景観に関する環境整備について質問をいたします。

今年の冬は、ここのところ暖冬かなと思っておりましたけれども、つい先日雪が降りまして、水分を含んだ重い雪が降ると竹などが覆いかぶさって、道路の通行に支障を来すこともたびたびあります。支障木の伐採などを村を通じて各地域にお知らせし、また地域で

地元の了解を得る中で伐採を進めてきておりますが、まだ完全ではないと思います。

それはこの雪が降ってみるとわかるわけですが、引き続き地域での対応が必要であると考えますが、特に主要な村内道路の通行の安全を確保するためには、特に伐採が困難な場所などでは道路幅、あるいはそれ以上に一定の見通しのできるような空間だとか幅を確保することが欠かせないのではないかと考えます。

また、地域などでもやった伐採などの支障木などの木の処理などにも、村でぜひ取り組んでいただければどうかと思います。村長の答弁をいただきたいと思います。

もう1つ、景観ということでもありますけれども、景観をきれいにするという観点からは、もうじき新年度ということであらゆる桜が一斉に咲く時期になりますけれども、一面の桜には癒されるものですが、最近特に桜の天狗巣病が蔓延してきております。

これはご存じの方も多いと思いますけれども、カビの一種である糸状の菌、糸状菌によって起きるそうですけれども、感染して枝がこぶ上になっておりますけれども、そこからたくさんの小枝がほうきを逆さまにしたような状態といいますが、扇子上に上に広がって、普通の枝より早めに小さい枝が開いて固まり状態になって、この形がてんぐのすみか、てんぐの巣というふうに言われる人もおるとおもいますけれども、そういう状態のものです。

感染したものは花が少なくて、そのうちに枯れてしまう病気なんですけど、桜の咲き方がおかしいと思ったときは感染が疑われます。

被害はあちこちに見られるようになってきました。特に主流の品種であるソメイヨシノに感染症状が激しく現れるといわれておりまして、被害が拡大すると思われれます。

処置方法は、病気にかかってしまった箇所を切り取って焼く。または切り口に防蟻剤を塗るということですが、早急に処置に取りかかるべきだと考えます。胞子が飛ぶ前の2月くらいまでがよいということですが、既に3月になりましたけれども、花見前に枝を見て処理することもまだできると思います。ぜひ村ぐるみで防除する、こういう気運を盛り上げていただきたいと思います。

当面たくさん桜が埋まっているところの場所を例えば村で管理する場所もありますし、各地区で管理するような公園もあると思いますが、そちらの処理を行ってはどうかと考えます。

村では緑の募金活動などによって還元金で桜の苗木なども配布しておりますけれども、

防除にもぜひ予算を割いていただいて、景観の改善、維持にも努めるべきではないかと考えますが、村長の答弁をいただきたいと思います。

以上質問を終わります。

議長（村松 積） 伊藤村長、答弁願います。

村長（伊藤 喜平） 串原議員の質問にお答えいたします。

今、コスモホールについて総体的にいい評価をしていただきました。

そこで、やはりときには故きを温ね新しきを知るということも大事でございますので、このできるいきさつについて、これ嫌みでなくてちょっとここで再確認していただきたいと思います。

当時、中島議員も議員さんでございました。その中で、私はこれだけ村民の皆さんが頑張っておってくれるんだから、何とかその頑張りに報いるために、文化の拠点、それからみんなが憩いの場所のホールを作りたいということが計画の中にございました。そして平成15年ころから取りかかるかなと思っておりましたところが、例の小泉・竹中ラインにおいて、下條村はご承知のように過疎債は使えない村でございます。もうこれ必要ないということでございまして、それ前に地域総合整備債、地総債というのがございました。これを使ってやるんだぞということで腹を決めておりましたところが、ある日突然平成13年を持って地総債はもう廃止してしまうと。財政再建をしておかないと大変なことになるぞということで、あの当時からもこれ普通の人なら当然でございますけれども、特に竹中平蔵さんというのは財政全般にわたってわかる人でございますので、「必ず破たんがくるぞ」ということで閉めたわけでございます。

ところがうちはそんなこと過疎債も使えん、辺地債でやるなんていったらあれ辺地のところへ充当しないわけでございまして、地域総合整備債を密かに考えながらやっておいたら、それは平成13年度で終わってしまうということの一方的な計画がありまして、その通りにやったわけでございます。

そこで私も非常に慌てまして、即この問題について議会の皆さんに「なんとしてもやりたいんだ」ということでございました。当時14名おりました。嫌みで言うんでなくて、その中で「絶対にあれは作っちゃいかんぞ」というのが日本共産党を中心とした4～5名の方でございました。「どんなことがあっても作っちゃいかん、そんなものは」というこ

とでございます。

私たちはちゃんと財政基金も積んであるし、それに見合う形は全部とってあったわけ
でございますけれども、大変で確かに14人の中で9対5か10対4かで激しくやりました。
それでところが、今度は皆さんああいうふうにできあがってみれば何でもないわけござ
いますけれども、あれ急峻な山、そして谷はもうドボドボの沼田というのがありまして、
それでそこへどうしても作りたいということでやりました。平らになって今見りゃ何でも
ない、もうちょっと広い方がいいんじゃないかと思うんですけれども、あの切り取りの部
分を見るとどのくらい土を持って行ったかということがわかります。どうしても文化ゾー
ンの中に作りたいと。そしてその中でグラウンドもあり、中学校もあり、小学校もあり、
図書館もあり、この中へなんとしても埋め込みたいなということでやった経緯があるわけ
でございます。

それから40年とかいいますけれども、今日非常に総合的にはいい評価をいただいて、
やはり時代の流れということと、もしあのコスモホールがなかったらどういうことかとい
うことでございます。

今回も芝居とか村民吹奏楽だとか、心のよりどころでございます。東京からも来てあの
歌手、長山洋子さんも来て生バンドして、あのプロデューサーが「本当に音響のいいとこ
だ」って、あのプロが驚いて帰っていったき、ちょっとあれも調子に乗ってちょっ
と大きすぎまして、村民の皆さんにも「くたびれた」という人もありますけれども、今ま
でさんざん苦労して水前寺清子が来た時は座布団持って小学校の体育館行って、こんなよ
うで見ておる老人クラブで総会やるなんていえば酒飲んで、小学校の体育館で熱くてぶっ
倒れるような人が出る始末。それからもう1つ、歌手が来た時は、中学校で川中美幸さん
が来た時は中学校でみんな座布団持ってがたがた持ってこんなことしておる。これが私は
耐えられなかったわけございまして、提案したんですけれども、そういう状況である。

故きをちょっと温ねていただきたいということも参考のために申し上げておきます。

それで利用人数でございますけれども、15年には13,498人。

それから13年度で設計をいたしました。設計と全部その手続きもとったわけござい
まして、寝食忘れてってあのことだと思えますけれども、設計は長野の設計士にお願いい
たしました。いろいろな状況を見て。そしてあの音響を良くするために、あのこのドーム

の中へ20センチのコンクリートも打ってあるわけでございます。外の温度だとかそれから耐熱もあるんですけども、音響。それからもう一つは、屋根がガルバニウムだかの作ってありますけれども、雨なんか降ったときにちょっとでも音が入っちゃいかんということで、その上に屋根を張ったというような実態もあるわけでございます。

そして3月31日までぎりぎりかかって許可を得て、それで4月1日から始まったわけでございます。あの山を取るには木下建設さんやってくれたんですが、あれ大きな赤字をしましたけれども、土は加賀美の下側の洞へ、あの洞で埋まっておるのが全部土でございます。それから各地区へ配ったり埋めたりして、埋めるには排水工事が大変でございました。そしてその中に転圧して埋めて埋めて埋めからかして、そしてその中へパイルを打って打って打ちまくって、その上に立ったわけございまして、今議員行っていただいてもわかるように、地盤沈下なんていうのは全然ありません。私どもせめて埋めたったところ相当危ないかなと思ったら、そういう方法でやったということ。約10億円かけたということでございまして、そんなことも頭に入れておいていただきたいなと思っております。

平成16年には13,900人、17年には13,056人、18年10,396人、19年は11,937人、20年は12,950人、21年度は1月28日現在で8,631名ということで非常に少なくなっております。これは当然インフルエンザ等によって会合がいろいろ流れたりしておるところでございます。

利用団体別数では、21年度では、中学校の吹奏楽部が79回、村吹が91回、全体では247回利用されております。また、村外団体の利用も多くなっております。

公営結婚でございますけれども、20年度にはたった2件でございました。21年度には3月の予定を入れて7件、まさに7件公営結婚するということは、今度も確か取材が入ると思いますけれども、これは4,000人の村で7件、年間これはもっと増えますけれども、何でもないのでございますけれども、何でもなくないわけございまして、下條村におれば何でもないのでございますけれども、私はうれしいことかなと思っております。

今後の利用につきましては、これ中学校の生徒会議会でも3年ほど前に提案されました。全部趣旨を見て、こんなもんじゃだめじゃないかと、もう少しといううれしい指摘をいただいたわけでございますけれども、それらも含めて今一生懸命使っておるところござい

まずけれども、普通の村に行くとあれの程度の施設があると、必ず1人か2人専属におけるわけでございます。これは視察してわかるんですけども、小さな村であれよりまだちゃんなものを作っておいて、1人専門における。「おまえさん何しておるんだ」と言ったら「掃除したり」やって「音響のあれもできるのか」と言ったら「音響は音響でまた借りてきて1人来て調整していただきます」なんて、恐ろしいことをしておるわけでございますけれども、私どもはできるだけそうした間接費は無駄を省いておるわけございまして、これからは無理して使う必要はないわけございまして、必要なときに必要なだけ使っただければいいと思っております。

葬祭ということでございますけれども、結婚式場と葬祭場。葬祭をどうのこうのいうわけじゃないんですけれども、今村内にはいろいろ定着しております。7カ所くらいあるのかな。龍嶽寺さん、松源寺さん、阿知原コミュニティーセンター、睦沢公民館、中原集会所、親田コミュニティーセンター、合原コミュニティーセンター。親田と合原は葬式で借金を払っちゃうくらいな勢いでございまして、積み立てもあるそうでございます。これはそれだけ使っただいてありがたいなと思っております。

実は葬祭でございますけれども、伊藤典礼が阿南町に出店いたしました。その時に議長さんも呼ばれていって来たわけでございますけれども、社長に「おいこれ阿南町調子よくなったら下條どっか作らにゃしょうないでまたそのときに」と言ったら「いや下條はもうみんな公民館葬式が定着しちゃって、私ども進出の余地がない」ということをはっきり言われました。

これは何でも新しいものを求めるんでなしにあそこへ黒い服を着て黒いネクタイであまりそのというか、そのちょっと何でも使えばいいというもんでなくて、イベントやったらどうか、ホールが線香くさいじゃないかということでも悪い、いいは別の問題として、これはやはりやるべきではないのかなと。定着しておるものを何でその無理にやらんならん。本当に定着するまでは大変だったと思っておりますけれども、定着しておる限りそれはそれでおいておかなければいけないなというふうにして、このそこで葬祭をやる気持ちは今のところございませぬ。時代が変われば先ほど日本共産党の評価も変わるようなわけございまして、時代が変わるまではちょっと今のところは無理かなと思っております。

それから道路支障木でございます。

これは大いにやっていただきたい。実はこの前も話したと思いますけれども、原平から明地原へ行くまでの街道、あれは何キロくらいあるかわかりませんが、第1次の部落総出でやっていただいたのは、高所作業車を2台入れて、部落総出。どちらも26戸あるんだな。新田も親田も。部落が総出。おばあちゃんのうちは嫁に行ったとこのだんなが来て強制ではないんですけれども、手伝いに行かないということでやって非常に明るくなりました。

それで今度は去年街灯をつけると。そのことについては「もうちょっとやらんか」と言ったら「それつけてくれるんならそんなものやらにゃいかん」と言って、これも52戸全員出たそうでございます。

大変で私も夜集会場へ行ったら、俺なんか行ったらって何来たかっていうような入るところがない。みんなもうビール飲んでおってやっておりましたけれども、そのくらい燃えてやってくれるところがある。

そうすると今も言ったように、もう少し道を広くせよと。そんなものは地主がみんなおるんだもんで、「おいこれ伐っていいか」ってやって、伐ったあとを見ると、こんな木の切り株がぼんぼんあります。非常に明るくなったということでございます。

私どもも、それと下條村ほど国道の周辺の整備をしておるところはないと思います、県下で。ほとんど今やっております。あれは本来は県がやるべきものですけれども、県とかけ合っておったってどうしようもないわけ。無い袖は振れないわけでございますので、全部あれは下條村でやりました。

県も歯がゆい思いでありますけれども、結構それはそれなりにまた見返りがあるもんでございまして、私どもは見返りがあるとかそうでなしに、何とか下條村へ入ったら気持ちがいいなということで、相当の金も使っておるということでございまして、もうちょっと頑張れというんなら頑張るには頑張りますけれども、頑張るには地元の人たちもまた頑張っていて、そして竹なんていうのは簡単なものでございますので、大いに10本も20本も切れれば相当のものになるわけでございますので、ぜひその対応をしていただきたいということと同時に、切った木はなんでもその廃棄物で処理しなくても私は新田でやったように、つたんどおいて置いておけば誰かが持っていつてくれるということでございます。これはまさに省エネでございまして、いいわけで、何でもできたら持っていつて処理

せにゃいかなんていう、そんな知恵のないことでなくて、置いておけばほしい人があるということでございますので、そんなことでやればコストも相当下がるのかなと思っております。

それから桜でございますけれども、天狗巣病ということで、前に1回天狗巣病がはやった時がございました。「あれ消毒すりゃいいじゃないか」と言ったら天狗巣病は消毒する薬がないそうでございますして、切らなければいけないと。それで切るにもこののこぎりなんか使ってももちろん切るんですけども、そののこぎりは後で消毒しておかないとまた次の木に移る可能性があるとかいう。切り口は今の防腐剤塗っておかないとそこからまた生えるとか、いろんな問題があったことを覚えております。

今、現実の問題として、手塚原のあの有名な桜がいよいよ老朽化し、地元では「危険だから切ってくれ」ということでございまして、あんなものも地元でやって大きな事故になっては困るということで、何とか村でやらなければいけないということで対応しておるところでございますけれども、さりとて切っちゃえばもったげないし、桜見たいけれど、手は出さんぞということでもいけないということで、もう少し慎重にやってまいりたいと思っております。

それからこの宮嶋議員のとこへ上っていく道でございますけれども、これ万年雪でございまして大変でございます。いろいろありまして、これも全部今後切らしていただきます。

そういうふうにして、必要なとこは村で一生懸命やっておるということでございますので、またそんなとこがございましたら一回ご相談いただいて、「おい竹の10本ばか切ってくんなんよ」とか「これだけあっちゃしょうないな」とか、いういろいろなそこで方策、知恵が出てくると思いますので、そんなことでご理解いただければありがたいと思っております。

前段で若干不愉快な思いをさせたとおもいますけれども、これ真実でございますので、時が変わったなという実感と同時に、ああ良かったなという気も私もするわけでございますので、またそんな面でこれから決定するときには十二分を先を推察いただいていい結論出させていただくようにまたご協力のほどをお願い申し上げまして、答弁とさせていただきます。

議長（村松 積） 2番、串原寛治君、再質問。

2番、串原寛治君。

2番（串原 寛治） 今、コスモホールの過去の歴史についても今お話がありましたので、そういう議論があっただけのものでありますので、決められた以上はこれをしっかり村民の有効利用のために使うということが大事であろうと思います。

先ほどかなり利用状況も多いというお話もありましたけれども、このままでやっていくというお話でありましたけれども、年間247回とかあと村外者も使うというようなお話がありましたけれども、例えば結婚式ですと大きい行事のあいさを使うと思います。これは例えば大安であるとかいい日を使うと思います。ほかの日も空いているときもあるのではないかと私思ひまして、先ほどお話しがありましたような確かに阿南地区にも葬祭場ができました。2つできました。それから飯田の方ですと一番近いところが天竜峡です。村内では、それぞれできるところがありましたけれども、まだまだ全員が使える、ほかのところを使わせていただくということが多いかと思ひます。確かに車で行けば近いんですけども、それなりに大変ですし、費用がかかると思ひます。

今度できた施設も葬祭だけでなくほかのイベントにも使う。音楽会、コンサートだとか映画館に使うというようなちょっと似た、文化ホールとも似たような指向になると思ひておりますので、私は葬祭、あそこに付随したような施設というようなことでは場所もいいですし、考えられるのではないかと思ひます。

今、特に改修とか何かそういうお話ありませんでしたけれども、利用促進するそういうことがあるならばそういうこともひとつ考えて検討してみたいと思ひます。

それから道路の障害木の関係でありますけれども、今、村ではその新しく新設する道路というものが確かに少ないわけでありまして。しらさぎの方へ上がっていく道を地域でやったというお話もお聞きしておりますけれども、やはりこれから高齢化であるとか、みんなでやるということも必ずしもできないところもあると思ひます。あるいはそこ通るけれども、実際にそこにその地域ではあるけれども、地域の障害物であるけれど、通る方がほかの方というところもありますので、私は今新設することも少ないという中では、もし地域要望等でここはぜひ地域でも協力するけれども、村で手を貸してくれとか、そういうこと

がありましたら、例えば障害木ですと切ると道にかぶさります。車を止めんならんとというようなこともありますし、そういうようなところはまた要望として出していきたいと思いますので、ぜひまた村の方でもお力添えをいただきたいと思います。

それから天狗巢病のこと言いましたけれど、一番たくさん植えてあるところはリフレッシュパークですけれども、外から見てもやはりだいぶかかっておるものがありますので、あれらは早急に処理するべきだろうと思います。

それから各地でも管理しているところがありますけれども、やっぱり先ほどの話もありますけれども、桜切るばかと言われるように、普通は切らないものなので、やっぱり感染防止ということがありますので、必要においてはこういうところは薬品などの現物支給というようなことも状況によっては考えていただきたいと思いますが、その辺3点再度お答えをいただきたいと思います。

議長（村松 積） 伊藤村長。

村長（伊藤 喜平） 3点4点出ましたけれども、あの阿南町のアイホール伊藤か、あの施設現物見ました、中を。もう映画館やったり講演会やったりというのは、それはカタログにはそういうふうに書いてあるし、あいさつにも言いました。現実にはちょっと使う人の勝手でございますけれども、ちょっと一回葬式がなげにゃ行かんけれど、ぜひ一度見てきて、そしてそういうご意見をいただければありがたいなと思っております。

それから道路がねえじゃないかと言うんですけれども、ご承知のように毎年懇談会をやっておりますし、懇談会それから私もあなたの地元へも行きます。要望はほとんど道路に関しては出ないということでございます。それから苦しいところもあるし、人ばっか通るところもある。確かにそういうところもあります。だから村に申し出て相談してくださいと。ケースバイケースでやるということを私は申したつもりでございます。

それから桜切るばか梅切らんばかとかいうことでそうでございますけれども、あれは切ったで天狗巢になるということになしに、切り口から菌が入りやすいということの例えだそうでございますので、桜も大いに切るべきだというふうには書いてありました。

そして切り口に対して今言うように、ボンドみたいなものを塗るそうでございますけれども、そのボンドについてもご相談いただければケースバイケースで考えさせていただくということでございますので、あくまで決めたら一辺倒だという、その全体主義者的な感

じでなくて、自由経済社会の中ではそこで柔軟性をもって対応するというところでございますので、私たちはその方向でまた進んでいく。その前に一回相談、電話でも結構でございますので、相談していただければ私どもも出向いて、私が出てこいといえれば私もそういう現場好きでございますので、行って検討させていただきたいと思っておりますので、よろしくまたご指導のほどお願い申し上げます。

議長（村松 積） 2番、串原寛治君、よろしいですか。

それではちょっと時間も超過しましたので、ただいまより昼食のため暫時休憩いたします。

再開を1時15分からでございます。よろしく申し上げます。

休 憩 午後 0時17分

再 開 午後 1時15分